

はじめに

鎌倉市図書館では、年度ごとに図書館で実施した事業を「鎌倉市の図書館」にまとめていますが、この度、平成30年度の「鎌倉市の図書館」を作成いたしました。

先日、岩波ホールで上映された巨匠フレデリック・ワイズマン監督のドキュメンタリー「ニューヨーク公共図書館～エクス・リブリス」を観てきました。そこには、ただ本を貸し出すだけの図書館ではなく、様々なサービスの提供の場、コミュニケーションや教育の場となっているニューヨーク公共図書館の裏側が描かれていました。鎌倉とニューヨークでは状況は異なりますが、これからの図書館が目指すべき理想像となるのではないかと感じましたが、これから鎌倉市図書館はどうしたら少しでも近づいていけるのかを考えさせられるドキュメンタリーでした。

平成30年度は、鎌倉市図書館の目指すべき姿を明確にするため、鎌倉市図書館ビジョンを策定しました。このビジョンは、中央図書館職員で構成されるプロジェクトチームで検討し、利用者懇談会での利用者の意見や図書館協議会等での委員からの意見を聴きながら策定され、その基本方針は「つながる・ひろがる・100年図書館」としました。また同時に、鎌倉市図書館ビジョンの実施計画である「第3次鎌倉市図書館サービス計画」の策定も並行して進めてきました。さらには、平成30年9月1日から11月30日までは、中央図書館と腰越図書館において、18時までの開館及び平日の月曜日の休館の試行を行い、アンケート結果の分析や今後の職員体制の検討を行ってきました。

平成30年度は、ビジョンやサービス計画の策定、試行の実施などを行いながらも、様々な事業に取り組んできました。この「鎌倉市の図書館」には、平成30年度のサービスの成果を記載していますが、皆さまには、これら図書館活動を評価し、図書館をより使いこなしていただくための資料としてご活用いただきたいと考えております。そして、ご意見・ご要望をいただければ幸いです。いただいたご意見・ご要望を参考に、ニューヨーク公共図書館とまではまいりませんが、利用者の皆さまのニーズに柔軟に対応できる図書館を目指してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和元年（2019年）10月吉日
中央図書館長 青木達哉



旧 鎌倉市図書館（昭和25年頃）



現在の鎌倉市中央図書館